

第7表

年月日	場所	指導した人員	対照地区	指導者
昭34, 10, 15	福島県教委 信夫出張所	37名	県北地区	県教委事務局保健体育課 技師 高橋 恕右エ門
34, 10, 19	原町市第2小 学校	35名	相双地区	
34, 10, 29	会津若松市謙 教小学校	43名	会津地区	
	計	115名		

## H 総括および考察

現行の健康保険法による結核性疾患の治癒期間は満3カ年となっている。肺結核患者は3年の間に治療し社会復帰せねばならぬ枠がおかれている。ところが政府管掌の社会保険者は傷病手当金の支給期間は1年6カ月で、その期間中も月収額の60%しか支給されないのなるべく早く職場復帰を希望する事になり管理医師も被保険者の生活問題を考慮すると止むを得ず早期に復帰許可を与えている場合が多い。一方、教職員の如き組合保険法及び共済組合等の被保険者は3年間の療養期間中は全期間を通じて月収額の100%に近い金額の支給をうけて十分な治療後職場復帰している場合が多い。このように勤労者の所属する機関によって肺結核療養期間中の待遇に相異がある事は幾ばくかの矛盾を感じる。此点から見れば教職員は恵まれた境遇にあるわけである。長期化学療法と切除術とが再発の危険や悪化率を低下するという専門家の論説が多いのをこの際認識を深め、十分な化学療法を受ける事を切望する。

以上、概括的に述べて来たが教職員の健康管理の1年をふりかえって総括を試みるならば次の如くである。

- (1) 採用、休職、復職および病気退職に関する疑義ある者の判定は結核等審査委員会に諮問して行っている。
- (2) 採用時、復職等の身体上の診査に当っては一定の基準を定め審査の結果を検討することにより、適時基準に改正を加えている。
- (3) 採用時検査を厳に実施することにより新規採用者からの発病は皆無といって良い。
- (4) 結核要注意者(C～2)よりの発病が案外多い事は今後の指導方法について具体的考察が要求される。
- (5) 一般国民の罹患と同じく相伴って教職員に於ても本年度あたりから精神神経症が増加している。これについては県教委としても具体策を目下考慮中である。
- (6) 結核復職後6年間は原則として要注意者扱いとしたい。
- (7) 復職時審査で不可となり退職する者もあるが、その中には病巣に対する主治医との見解の相違もあるので休職中の療養指導を十分行う必要性のあるのを感じる。此事は又、定期健診に於ける保健所と県教委との指示の相違に就いても同様である。

## 4 学校体育

### A 学校体育指導者養成講座

県内各学校における保健体育の向上をはかり、学習指導の効果をじゅうぶん発揮するためには、指導上の組織体系を確立する必要がある。それには各出張所単位に、指導助言の役割をもつ指導者の養成をはかり、地方指導に必要な内容および方法の研修をすることにある。特に今年度は、改訂学習指導要領の移行実施の第1年目であるので、これが取扱いと発展的段階的指導法の実地研修を主眼として開催したものである。

- a, 期日 4月28日より3日間
- b, 場所 福島大学学芸学部, 福島農蚕高等学校,  
福島女子高等学校
- c, 参加者 各出張所より推せんされた指導者各10名ずつ(内2名女子)計160名
- d, 内容
  - (1) 特別講師 文部事務官 松島茂善氏
  - (2) 地方講師 福島大学学芸学部教授 鈴木源六氏 外20名
  - (3) 体育理論 徒手体操, 器械運動, 陸上運動, ボール運動, その他の運動, 集団行動
  - (4) 研修法 徒手, 集団行動は全員履習, あとの各運動はそれぞれ班に分れて3日間通して履習。
- e, 修了証書 全日程を履習したものに対しては修了証書を授与した。

年度のはじめでもあり、学習指導要領移行第1年目(小学校)でもあったので本講座は大きな成果を収めることができた。特に改訂指導要領の作成にあられた松島先生をお迎えして開催できたことは、われわれの平素の疑問を解決してくれた。昨年もそうであったが、今年度も会期延長の声が強かったが、これは受講生の熱を示すものである。方法についても大いに改善検討を要する点が多いが、少くとも、小学校と中学校を分けて開催することについては異口同音であったので、35年度はぜひそうしたいと考えている。

### B 学校体育伝達講習会

指導者養成講座に参加した受講生は、各出張所においてそれぞれの計画によってこれが指導伝達をなし、管内の向上に努めた。

- a, 期日 6月～7月が主であった。都市以内の地区では、主に農繁休業を利用して開催したところが多かった。
- b, 場所 各出張所ごとに実施、地方によってはさらに数ヶ所で開催し、またあるところでは、各学校を巡回して普及に努めた。

この伝達講習によって県内の末端にまで行きわたり、効果があった。数ヶ所で開催したところでは経費や日程等で容易でなかったようである。